

シリーズ自己改革 第2回

農業振興と地域の活性化に向けた

JA越後さんとうの取り組み

JA越後さんとうでは、組合員の皆さまから「JAはよくやっている」「JAは地域に必要な取り組みをただけるよう、地域にとってより一層利用しやすい組織になるため自己改革を進めています。今月は、当JAの様々な取り組みをご紹介します。

JAは農業をはじめとし、暮らしに関わる総合事業を営んでいます。組合員や地域の皆さまから事業をご利用いただくことではじめて、地域に最大限の貢献ができるものと考えています。

その事業利用について踏み込んだ言及をしたのが、平成26年に政府へ提出された「農業改革に関する意見」でした。政府の規制改革会議農業ワーキンググループが提出したこの意見は、准組合員の事業利用規制については言及しましたが、その後自民党は「利用規制については組合員の意見に基づく」との見解を示しました。

JAグループではこれを受け、農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた様々な自己改革を推進しています。この取り組みに対して、自民党は「JA自身の積極的な動きがみられる」と評価しました。そして今後この評価を左右するのが、組合員の皆さまのご意見です。

日本の魂である里山風景、命を作る豊かな国産食。これらの「命」を後世につなぐには、皆さまからのご支援が欠かせず、その支援とは「JA事業をご利用いただくこと」に尽きます。政府の介入を気にせず、JAがこれからも地域の発展に寄与できるよう、一人でも多くの方がJA応援の輪に加わってくださることを願ってやみません。

私は常々、「正組合員も准組合員も同じ組合員であり、JAを自由にご利用いただきたい」と考えています。「JAは地域に必要な」と皆さまに感じていただけるよう、全役員が全力を挙げて、日々改善に取り組んでまいります。

「“命”をつなぐ自己改革」

経営管理委員会会長
奈良場 義夫



サークル交流発表会など文化活動



暮らしを彩るサークル活動を支援。普段の活動を披露する発表会などの場を通じ、地域間の交流に取り組んでいます。

健康ウォーキングなど健康支援活動



地域の皆さまの健康増進を目的とした各種活動を実施。「健康ウォーキング」の主催を始め、毎月の「健康教室」も人気です。

子どもたちへの食農教育



毎年8月に小学生を対象として実施するサマースクールは、食農教育の一環として行っている事業。ほかにも、一年を通してイベントを企画しています。

子育て支援活動「あぐりんこ」の開催



食農教育を取り入れた多世代交流の場として、子育て支援活動「あぐりんこ」を開催しています。乳幼児を対象とした子育て支援は、県内では当JAだけが実施。子育て世代の交流の場を提供しています。

保育園・小中学校の 諸経費・口座振替手数料免除



小さなお子さまのいる家庭の子育て支援として、保育園・小中学校の諸経費納入にかかる口座振替手数料を免除しています。

学校教育田などの活動支援



子どもたちが身近なコメ作りを体験することで、コメの重要性や農業への理解を促進。地元生産者のご協力も仰ぎながら、JA職員も積極的に携わっています。

一支店一協同活動への取り組み

地域の美化や活性化のため、様々な施策を実施。海岸や国道のクリーン活動、夏まつり・秋の収穫感謝祭を開催。また、各地域のイベントに出店したり、地元保育園などの農業体験をお手伝いするなどしています。



平成29年度 北部中央支店「秋の収穫感謝祭」



中部中央支店とみしま南保育園のイモの植え付け



地域のイベントに出店

豊かな暮らしを支える取り組み

当JAの経営理念「地域とともに、地域社会との共生」を目指して、「くらしの活動」協議会を中心に、食農教育や健康づくり、環境保全・文化活動などに取り組んでいます。

農業・農家を支える取り組み

JA越後さんとうの経営理念である「環境に優しい未来農業をめざして」、「地域とともに地域社会との共生を
目指して、一貫して地域農業の振興に取り組みできました。当JAの主な取り組みを紹介します。

JA越後さんとう産米 「品質向上310運動」

「310」には、考え方と目標、それぞれ3つの点があります。

運動の考え方

- ①天(豊かな自然)の恵みにたたえられた環境の中、
- ②点 しっかりとポイントをとらえた、
- ③展 品質向上の発展とほたる舞う郷土づくり運動のステップアップ(発展)に取り組みます。



品質向上目標の3“てん”

- 1てん 玄米1等級比率90%以上(平成29年度まで4年連続達成)
 - 2てん 10a当たり収量→コシヒカリ510kg/その他540kg
 - 3てん 玄米タンパク含有量(水分15%)→コシヒカリ6.0%/こしいぶぎ6.2%
- これらの達成により美味しいコメ作りを実現し、選ばれるコメを目指しています。

多収穫業務用米の取り組み



コシヒカリなどの家庭用主食用米だけでなく、あきだわらなどの近年需要が増している多収穫業務用米の取り組みで「儲かるコメ作り」を提案しています。

生産者を巻き込んだ販促活動



全国で積極的な販売促進活動を展開。生産者とともに、卸先のスーパーなどで店頭試食会を実施し、越後さんとう産米の産地アピールを行っています。

にいがた農業応援ファンド



JAバンクの助成金を活用し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指します。農業生産、農産物の加工・流通・販売および農業を通じた地域活性化に対する取り組みに対し農業経費や費用の一部を助成しました。

地域振興作物の作付け拡大



農業者の所得増大に向け、園芸品目の作付け拡大を支援しています。今年は新たに3軒が、全農にいがたが生産から販売まで一貫して取り組むミニトマト「アンジェレ」の栽培に乗り出しました。

担い手の振込手数料免除



管内の認定農業者(担い手)にサポートカードを発行し、農業経営に係る振込手数料を無料化。農業者の費用負担を減らすことで、所得増加をお手伝いしています。

農業融資



農業を営む方それぞれに適した融資をサポート。農機具の購入や農業資金をお得にご利用いただけるよう、様々なキャンペーン商品をご用意しています。



牡牛座

4/20
~
5/20

「全体運」

心理的に不安定になりやすいかも。難しく考えず、気楽に構えるのがベストです。気分転換には散歩がお勧め

「健康運」

リラクセスすることで体調に好影響あり

「食べ物」

マツタケ

農地集約による生産拡大



JAが仲立ちをすることで、スムーズな農地集約をサポートしています。集約により、生産コストの削減や所得の増大が期待できます。

JA出資型法人の設立



株式会社アグリサポートさんとうは、当JAが出資して設立しました。地域の方より委託を受けたほ場を管理し、耕作放棄地問題の一助となっています。

肥料の銘柄集約によるコスト削減



肥料銘柄を集約・予約結集・集中生産によるコスト低減を図ります。新潟県内JAでは、「国産化成肥料オール14(窒素、リン酸、加里それぞれ14%)」を対象に銘柄集約に取り組んでいます。

営農指導事業



一年を通して営農指導を実施しています。総合相談員(TAC)による巡回指導や作物・時季ごとに研修会を開催。品質と収量アップによる所得増大を応援しています。

共同施設による生産者の設備投資コスト減



平成29年の和島ライスセンター改修をはじめ、随時その他施設でも改修を行っています。生産者自身の大型設備投資負担を減らすことにつながっています。

担い手直送規格農薬によるコスト削減



統一ロゴマーク:メガぞう君

担い手農家向けに大型規格である1畝規格よりもさらに大きい、4~5畝の超大型規格を導入。完全受注生産・メーカー直送によりコスト低減を図ります。



To be continued...

「自己改革」といってなんだか堅苦しく、組合員の皆さまにはなじみにくいと思われる方もいるかもしれませんが、自己改革とは、当JAが目指す姿。当JAの経営理念である「環境にやさしい未来農業をめざして」、「地域とともに、地域社会との共生」そのものなのです。地域の基幹産業である農業を通して、これからも地域密着組織として貢献してまいりたいと思っています。

来月は自己改革シリーズ第3回をお届けします。